

エナジーサポートグループ 企業行動指針 行動ガイドライン

エナジーサポートグループ企業行動指針・行動ガイドラインは、エナジーサポートグループの企業理念の実現に向けて、私たちが取り組む基本姿勢を宣言したものです。

エナジーサポートグループの企業活動は、私たちの日々の行動やその結果にほかなりません。

私たちは、常に自らの行動をこの指針・ガイドラインに照らして見つめ直し、誠実で責任ある行動に努めていかなければなりません。

エナジーサポートグループに勤務される皆さんへ

エナジーサポートグループが厳しい時代を乗り越えて、日本ガイシグループの一員として今後も存続・発展していくためには、当社の企業理念である「信頼の獲得」「人間の尊重」「社会の安定」を大切にするとともに、日常業務におけるコンプライアンスを徹底し、「明日のエネルギー産業に奉仕する」企業としてふさわしい社会的評価を獲得していくことが必要不可欠です。

私たちは、これまで以上に消費者の安全確保や環境に配慮した活動に取り組み、お客さま、取引先、株主、従業員、地域社会をはじめとするステークホルダー（利害関係者）との対話を通じて、その期待に応え、信頼を獲得していかなければなりません。

こうした背景を踏まえ、エナジーサポートグループでは「企業行動指針」を制定し、企業理念の実現に向けて、私たちが取り組む基本姿勢を宣言しました。

今回の企業行動指針の改定にあたり、企業行動指針を「企業理念を実現するための会社の具体的な行動を規定するもの」としてさらに発展させ、会社に取り組むべき事項を明確にし、行動指針に基づいて個人が取り組むべきことを「行動ガイドライン」として記載しています。

企業活動は、そこで働く皆さん一人ひとりの行動やその成果の積み重ねであることは申し上げるまでもありません。企業理念の実現に向けて、各自が高い倫理観をもつとともに、“企業行動指針”“行動ガイドライン”を業務遂行の指針とし、常に自らの行動を見つめ直し、なお一層、誠実で責任ある行動に努めていただきますようお願いいたします。

※ コンプライアンスとは、法令、ルール及び倫理等を守ることをいいます。

I. 企業理念の実現

私たちは常に「社会の安定そして向上」に役立つ商品やサービスを提供し、社会の期待と信頼に応え続けることを目指しています。そして、そのためまぬ努力が、エナジーサポートグループの持続的な発展を支えています。

1. より良い社会環境に資する商品の提供

長期のグローバルな視点に立ち、地球環境を守り社会の安全・安心を実現する商品やサービスの提供を通じて、新しい価値の創造に取り組み、エネルギー産業の支えとなって社会の安定、向上に貢献します。

品質と安全性の追求により、お客さまと社会からの信頼を獲得します。

【行動ガイドライン】

- 技術の先進性を追求し、社会の役に立つ魅力的な商品やサービスを創造します。
- お客さまの新たなニーズや改善への要望を真摯に受止め、商品・サービスの開発、改良に努めます。
- 常に品質の向上とコストダウンに取り組み、安全で信頼される商品・サービスを世界中に届けます。
- クレームや事故には迅速かつ誠実に対応します。事実を正確に認識し、原因を徹底的に追究して、再発防止に努めます。
- 視点を高く持ち、常に和の心と向上心をもって仕事に取り組み、目標に向かって粘り強く挑戦します。

II. 企業活動のあり方

企業に向けられる社会の目は年ごとに厳しさを増しています。

私たちは常に社会の常識に照らしてフェアプレーに徹し、社会の新たな要請にも遅れることなく、前向きに対応していく必要があります。

また、不正の発生を防止し、働く人の「人間性を尊重」して、より良い人材が育ち、活躍できる企業であり続けなければなりません。

2. 企業情報の開示

経営の透明性を高め、エナジーサポートグループに対する社会の信頼を得るために、経営情報、財務情報、商品・サービスに関する情報など、広く社会が求める情報を正確かつタイムリーに発信します。

【行動ガイドライン】

- 社会が必要とする情報は、法令や規則、社内ルールに従い、速やかに開示します。
- 正確な財務情報を開示するために、財務報告に係る内部統制の仕組みを確立し、適切に運用します。
- 商品・サービスに対するお客さまのお尋ねには誠意を尽くし、正確、かつ適切な内容・方法で応えます。

3. コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント

各国、地域の法令やルールを守り、国際間の取決めを尊重して、コンプライアンスを徹底します。

誠実で高い倫理観のある人材を育成します。また、内部統制システムの構築とリスクマネジメントの実践を通じて、会社の資産や信用、第三者の権利を守ります。

【行動ガイドライン】

- 法令やルール、国際的な取決めや商慣行、社内規定等を遵守し、常に誠実に行動します。
 - ・安全保障輸出管理関連法規を守り、社内規定やルールに基づく管理を確実に行います。
 - ・独占禁止法を守り、不公正な行為や取り引きは行いません。
 - ・会社や取引先等の株式などを売買する場合は社内規定を守り、インサイダー取引を行いません。
- 倫理に照らして企業・個人のあるべき行動を理解し、誠実に実行します。
- 外部からの不法、不当な圧力に対しては、毅然とした態度と行動で対応します。
- お客さまとの交際は、節度をもった行動を心がけ、国の内外を問わず、相手が公的機関の職員の場合は、疑いを招くような行為は行いません。
 - ・会社が不当な利益を得ることを目的とする接待や贈答は行いません。
 - ・業務に関連して個人的な利益を得るような行為は行いません。
- 特定の人や組織に過度に権限が集中しないよう、内部統制を意識した組織と人の配置を行います。
- リスク管理に関する様々な取り組みを通じてリスクを認識・評価し、必要な対応を行って問題の未然防止と発生時の適切な対応に努めます。
- 事件、事故などを発見した場合は速やかに上司に報告し、その指示に従います。
- 会社の財産や資産は適正に使用・管理し、不正な利用や私的流用は行いません。

- 文書、電子データなどの情報資産は、法令や社内規定等に従って適正に使用・管理します。
従業員、派遣社員などの個人情報や、お客さまや取引先の情報などの不正取得、不正利用は行いません。
- パソコン、携帯電話等は社内規定等に従って注意して取り扱い、情報の外部流出を起こしません。
- 特許などの知的財産権は積極的に取得し、取得した知的財産権は適正に管理・使用します。
またソフトウェアなどを含めて第三者の権利を尊重し、権利侵害に対しては適切に対応します。
- 不正な行為は見過ごさず、このガイドラインや企業行動指針に反することを発見した場合は上司や担当部門に報告・相談します。
必要な場合は、躊躇せずにヘルプライン制度を利用します。

4. 人間性の尊重、快適な職場環境の確保

人材の採用、処遇は公正・公平に行い、安全・快適で、家庭と両立する働きやすい職場環境を提供します。

多様な人材が挑戦できる場と機会を設け、知識や技術の習得を通じて人材の成長を支援します。

職場におけるいじめ、差別、ハラスメントなど人権に反する行為の発生を防止し、違反行為があった場合には迅速に適切な対応をとります。

【行動ガイドライン】

- 人種・国籍・信条・性別・障害などによる差別や、いじめ、ハラスメントなど個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。
そのような行為を見たり受けたりした時は、上司や総務人事室に報告・相談し、必要な場合にはヘルプライン制度を利用します。
- 教育・研修には積極的に参加するとともに、常に自己啓発を心がけ、自らの能力向上に努めます。
- 就業規則や労働・安全衛生関係の法令を理解して守り、労働災害の発生を防止して、安全で働きやすい職場づくりに努めます。
- 日々のコミュニケーションを大切にし、一人ひとりが明るく生き生きと働くことのできる職場を目指します。
また、部下や同僚の家庭・子育てとの両立に協力します。

5. 公正、自由、透明な取引の実践

対等な良きパートナーとして、取引先との共存共栄を目指し、公正、自由、透明な取引を行います。

また、サプライチェーン全体で、企業の社会的責任を果たす取り組みを推進します。

【行動ガイドライン】

- 発注に関する社内規定を守り、下請法（下請代金支払遅延等防止法）などに反する取引は行いません。
- 取引先は対等なパートナーであることを理解し、節度をもった行動を心がけます。取引先に対する優越的な立場を利用して会社が不当な利益を得るような行為は行いません。また業務に関連して個人的な利益を得るような行為は行いません。
- サプライチェーン全体での社会的責任への取り組みが社会の要請であることを理解し、その中で運用される基準に沿う取引先を優先して採用します。

Ⅲ. 社会の一員として

企業活動が国際的な広がりを持つにつれ、企業には環境に配慮した技術開発を推進したり、また、地域の問題解決に協力するなど、より良い社会を築くための役割を積極的に担うことが期待されています。

私たちはこれに応えるとともに、広くステークホルダーの声をお聞きし、会社の取り組みに対する社会の「信頼を獲得し、さらに向上」させていこうとしています。

6. 地球環境の保全

事業活動を行うすべての拠点、すべてのプロセスで、率先して環境負荷の低減に取り組み、地球環境の保全に貢献します。

地域の環境保全活動に協力し、従業員の取り組む活動も積極的に支援していきます。

【行動ガイドライン】

- 事業活動による環境・社会への影響を認識し、環境に関する法令や会社の基準を守るとともに、設備の点検や環境測定などを定期的に行い、正確に記録を残します。また、異常を発見した時は速やかに上司と施設管理者に報告し、事態を是正するとともに、今後に備えて予防措置をとります。
- 研究、開発、設計から、調達、生産、販売、物流、廃棄に至るすべてのプロセスで、エネルギーを効率的に利用し、省資源、再資源化、廃棄物の低減など、環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

- 会社、地域の環境保全活動や日常生活における省エネ・省資源活動などに積極的に参加します。

7. 地域社会との協調、社会貢献活動の推進

各国、地域の社会的課題に関心を持ち、地域に信頼される企業市民であることを目指して、地域のニーズに応じた社会貢献活動に積極的に取り組みます。

【行動ガイドライン】

- 会社も地域の一員であり、地域社会との共生は会社の持続的発展の基盤であることを理解し、会社の社会貢献活動に積極的に参加します。
- 個人の力を地域社会で役立てるため、地域の一員として社会貢献活動に取り組みます。

8. ステークホルダーとのコミュニケーション

お客さま、取引先、株主、従業員、地域社会の方々など、すべてのステークホルダーとの対話を通じて、エナジーサポートグループへの理解を広げるとともに、寄せられた意見に基づいて会社の活動をレビューし、社会的責任を果たすための取り組みに活かしていきます。

【行動ガイドライン】

- 各国、地域の文化、慣習を尊重し、可能な限り会社の活動に活かしていきます。
- ステークホルダーからいただいた意見は真摯に受け止め、改善に努めます。